

令和5年度 地域発 元気づくり支援金 【木曽地域】 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち支援金要望額		
1	地域協働の推進	ソフト	木曽から発信する人と猫との共生社会実現	木曽ネコ会	「地域住民と飼い主のいない猫との共生」による野良猫の殺処分ゼロを目指し、行政、地域住民、ボランティアが一体となり次の事業を実施する。TNR活動(野良猫を捕獲・不妊化手術施術・元の場所に返す活動)、外猫トイレ等設置、動物愛護教育、啓発活動、地域猫写真展等 ①TNR活動 669千円、外猫トイレ等設置 203千円、愛護教育・勉強会 116千円、啓発物作成 333千円、フォトブック作成 445千円、写真展 77千円、飛騨シェルター視察 9千円	1,852	1,481	1,481	持続可能な地域づくり
2	地域協働の推進	ハード	狩猟シミュレーションを利用した新規捕獲技術者の発掘・育成事業	木曽猟友会	新規捕獲技術者の発掘・育成のため、模造銃と投影映像によるシューティングシミュレーターを活用し、狩猟体験講座、銃猟初心者技術向上講座を実施する。 ②シューティングシミュレーター購入 1,892千円	1,892	1,419	1,419	持続可能な地域づくり
3	地域協働の推進	ソフト	王滝村・長野県立大学包括連携事業「ひろがれ！推し村プロジェクト」	王滝村	連携協定を結んでいる長野県立大学の学生に夏・春2週間程度滞在してもらい、関係人口を創出するイベントを企画運営し、住民と協働で実施する。また、大学生が村内事業者向けにワークショップを開催し、大学の学びを地域へ繋げることで地域力を上げる。空き家DIYイベント会場も学生と整備を行う。 ①宿泊費 546千円、交通費 226千円、体験代 46千円	818	654	654	持続可能な地域づくり
4	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	南木曽グッドライフプロジェクト2023	NPO法人なぎそチャレンジクラブ	運動に数値的な評価を加え、自己管理意識を高めることを目的に、運動指導・講演会を開催し、運動器具の導入・指導等を行う。 ①運動教室 283千円 ②トレーニング器具 1,477千円	1,760	1,333	1,333	持続可能な地域づくり
5	保健、医療、福祉の充実	ソフト	歩いて木祖村を再発見できる「GoTo木祖村」事業	木祖村	木祖村独自のスマートフォン向け健康アプリ「えってこ」の登録者数増加及び健康増進を目的に、アプリ内に実際に木祖村を歩きながら巡るコースを設定し、木祖村1周を楽しめる機能を追加する。機能追加にあたっては、「村内の名所を歩くコース」や「知られざる木祖村を再発見できるコース」など、地域住民と協働で検討し、村内外の人が楽しめる内容とする。また、検討したコースを実際に歩いて体験するイベントを開催し、アプリの登録・利用促進を図る。 ①アプリ機能拡張 1,650千円	1,650	1,320	1,320	持続可能な地域づくり
6	保健、医療、福祉の充実	ソフト	楽しいレク&ウォーク事業	特定非営利活動法人のぞみの里	子どもから高齢者を対象に健康維持等を目的としたウォーク及びレクイベントを開催する。これまでに作成したウォーク4コースに加え、新たに2コースを設定する。自主的に楽しみながら継続できるよう、万歩計とウォーキング手帳を活用する。 ①ウォークイベント及びコース設計等委託 457千円、健康体操実技指導料等 126千円、消耗品等 238千円	821	656	656	持続可能な地域づくり
7	教育、文化の振興	ソフト	激笑激走！ティラノサウルスレース	NPO法人なぎそチャレンジクラブ	コロナ禍で各種イベントが激減したため、春と秋にティラノサウルスの着ぐるみを着てのレースにより、町内小中学生を中心に、老若男女誰もが気軽に参加でき、楽しめるイベントを開催する。それにより、人と人とのつながりや景観のすばらしさを認識してもらう機会を創出する。桃ヶ橋の下で開催するなど、地域の特色も取り入れる。 ①着ぐるみ代 440千円、レース開催経費166千円	606	485	485	持続可能な地域づくり
8	教育、文化の振興	ソフト	木祖村DX推進事業～みんなで学ぼうデジタル技術～	木祖村	DXにおける誰一人取り残さない社会を実現するため、スマートフォンの活用には慣れない方が多い高齢者を対象にスマートフォン教室を開催する。加えて、小学生を対象に、STEAM教育(科学、技術、工学、アート、数学等の各分野を横断的に学習し、総合的な思考力や創造性を学ぶ教育)を活用したデジタル技術を学ぶ学習会を開催することで、DX推進を担うデジタル人材の育成を図る。 ①スマートフォン教室 341千円、小学生学習会 899千円	1,240	930	930	
9	教育、文化の振興	ソフト	流域文化祭「水記祭」	僕らのルネッサンス実行委員会	人口減少により、小学生と教員、保護者のみで文化祭を行うことは難しい状況のため、国内外からアーティストを招聘し、村民と交流・滞在制作、ワークショップ・絵画教室を行う流域文化祭「水記祭」を開催する。 ①アーティスト招聘費用 832千円、委託費 1,165千円、消耗品費ほか 169千円	2,166	1,732	1,732	持続可能な地域づくり
10	教育、文化の振興	ハード	開田小学校木曽馬学習事業	木曽町	開田地域の特色である木曽馬文化の学習を通じて、文化の伝承や多世代交流を図ることを目的に、開田小学校に馬道(フェンス)やパイプハウスを設置。地域住民の協力の下、飼育体験や乗馬が楽しめる環境を整備する。整備後の馬道は、「開田科(総合的な学習の時間)」やクラブ活動、学童保育等、子どもと地域住民の交流の場として活用していく。 ②馬道の整備 1,650千円	1,650	1,100	1,100	
11	教育、文化の振興	ソフト	木曽の地域資源を活かした農業と文化の国際交流事業	日義地域自治協議会	異文化に触れる機会が少ない木曽町において、異文化への理解を深め国際交流を促進するため、在日外国人を招き、農業体験、交流イベント等を実施する。 ①体験・交流イベント開催 1,552千円	1,552	1,196	1,196	持続可能な地域づくり
12	教育、文化の振興	ソフト	木曽町先人顕彰のまちづくり事業	木曽町	山村蘇門の功績・偉業を学び、住民と共に地域全体の機運を高め、まちづくりに活かすため、「嚶鳴フォーラムin木曽2023」を開催する。 ①フォーラム開催(委託) 5,253千円、ブックレット・タペストリー制作等 1,096千円、交流会 1,360千円	7,709	5,040	4,640	観光地域づくり

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち 支援金 要望額		
13	安全・安心な地域づくり	ソフト	ハザードマップを活用した地域防災力向上事業	南木曽町	南木曽町では平成26年の土石流災害を教訓に、7年をかけて町内全域で地区防災会議を行い、危険箇所や避難経路を図上に示したり、要配慮者等の避難支援の確認を実施した。今回、その成果を地区に確認しながらハザードマップを作成する。また、WEB版ハザードマップを整備し、防災訓練の中で活用方法を学ぶ。 ①ハザードマップ冊子版作成 3,520千円、WEB版 2,750千円	6,270	5,016	5,016	防災力・減災力
14	安全・安心な地域づくり	ソフト	消防団活性化事業	木曽町消防団	消防団員の新規加入を促進するため、広報活動の強化、町内児童向けに未来の消防団育成事業を実施する。 ①啓発物作成 231千円、PR動画作成 100千円、子供用防火服等購入 210千円	541	433	433	防災力・減災力
15	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	美しい星空の見える地域づくり事業	木曽町	開田高原の星空を観光視点として活用していくため、地域の防犯灯を光害の少ないLED灯へ変更し、どこからでも美しい星空の見える環境を整備する。また、整備後の星空を活用して、星空を解説できる星空案内人養成のための講座や、東京大学木曽観測所と連携した子供向けの観察会、観光局・住民組織と協力した観光客向けのイベントを実施する。 ①講師謝礼 40千円、イベント開催委託料 132千円 ②LED灯設置 5,642千円	5,814	4,368	4,368	観光地域づくり
16	環境保全、景観形成	ソフト	みんなで考えよう！地球環境のこと	木曽町	SDGsや環境について子どもから大人まで幅広く学べる学習会を開催する。マイバツクの作成やSDGs紙芝居を通して楽しみながら学ぶことで、参加者の環境問題に対する意識づけを図る。 ①機械リース代 152千円、消耗品等 281千円	433	346	346	ゼロカーボン
17	特色ある観光地づくり	ソフト	木曽森林鉄道再生事業	一般社団法人 上松町観光協会	上松町に残されている森林鉄道関連遺産の魅力を高め、観光資源としての活用を図るため、一般参加による単体の塗装作業を実施する。また、現役時代の森林鉄道関係者からの聞き取り調査・座談会や森林鉄道遺構の活用に向けた調査・整備を実施し、貴重な遺産の継承につなげるとともに、全国森林鉄道サミットへ参加して活動を広くPRする。 ①塗装作業 806千円、座談会等 183千円、広報宣伝 222千円	1,211	968	857	観光地域づくり
18	特色ある観光地づくり	ソフト	上松町インバウンド周遊促進事業	一般社団法人 上松町観光協会	インバウンドを見据えた訪日観光客の受け入れ態勢整備のため、主に地域の観光事業者を対象に英語による観光案内や異文化への理解を深める講座を開催し、観光客と目的地をつなぐ役割を担うコーディネーターを育成する。併せて、赤沢自然休養林での森林浴体験をテーマとしたPR動画を制作し、欧米に向けて発信することで、インバウンドの誘致を図る。 ①講座開催 802千円、PR動画制作 4,950千円	5,752	4,601	641	観光地域づくり
19	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	あやめ公園池誘客環境整備事業	あやめ公園池保全管理組合	あやめ公園池の魅力向上を図るため、地域住民参加による下草刈り作業やカエデの植栽による景観整備を行う。併せて、池対岸の遊歩道の土砂入替・木製チップ撒きによる遊歩道整備及び池入り口付近への案内看板の設置により、観光地として安全・安心して池周辺を散策できる環境を整備する。 ①下草刈り・植栽等 403千円 ②遊歩道整備 770千円、案内看板設置 262千円	1,435	1,095	1,040	観光地域づくり
20	特色ある観光地づくり	ソフト	伊那路・木曽路で取組む持続可能な観光商品造成事業	伊那路・木曽路広域観光連携会議	南信州・上伊那・木曽地域連携によるインバウンド在日・訪日外国人向けモニターツアーを実施する。併せて国内外向け商談会への出展、持続可能な観光に関する勉強会を行う。 ①モニターツアー 1,000千円、商談会出展費 2,306千円、勉強会開催 500千円	3,806	3,044	3,044	観光地域づくり
21	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	開田高原森のささやきプロジェクト	一般社団法人 木曽おんたけ健康ラボ	子どもたちが自ら「地域」「自然・森」について学び考えるワークショップを開催する。また、尾の島自然公園の案内看板整備、同公園でのキャンプ体験イベントの開催により地域外への魅力発信を行う。 ①森の地域づくりワークショップ他体験イベント開催 1,914千円 ②フィールド案内看板設置 338千円	2,252	1,729	1,729	森林・林業
22	特色ある観光地づくり	ソフト	日本遺産 王滝森林鉄道～林鉄フェス2023～	(一社)木曽おんたけ観光局	王滝森林鉄道の会、林鉄クラブの努力によって動態保存している王滝森林鉄道(日本遺産)を各団体と協働し、体験乗車をするイベントを行う。木材を運搬することにより当時の姿を再現する。各種アトラクションも用意する上、地域住民と協働で地元の飲食・お土産ブース等を出展する。 ①広告宣伝 919千円、消耗品 222千円、イベント委託 3,459千円、報酬 55千円	4,655	3,724	3,685	観光地域づくり
23	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	SLお化粧直了式典	南木曽鉄道遺産を愛する会	R4年度に車体の再塗装が完了したSLの完了式典を行う。また、SLのライトアップを常設し、観光・フォトスポットとしての魅力を向上させる。 ①ミニSL運行委託等 703千円、広報・保険費用 76千円 ②LEDライト 419千円	1,198	936	936	観光地域づくり
24	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	町づくり組合と地域が一体となった南木曽町三留野地域の町づくり事業	中山道三留野宿町づくり組合	三留野地域全体を体験型・滞在型の観光地となるようPRするため、三留野宿内に「宿場灯籠」を設置し、Instagram等の情報発信を強化するための写真・SNS発信教室を行う。また、観光ガイドマップを作成することにより、観光地としての認知度向上と、グレードアップを図る。 ①ガイドマップ作製 635千円、写真等教室開催 134千円 ②灯籠設置 1,448千円	2,217	1,700	1,700	観光地域づくり

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金内定額(千円)	重点テーマ区分
							うち 支援金 要望額		
25	特色ある観光地づくり	ソフト	「信州歴史的まちなみフォーラム2023in妻籠宿」	(公財)妻籠を愛する会	信州歴史的まちなみフォーラムの開催により、地域住民が、外部からの講師や参加者と交流を図ることにより、妻籠宿としての活動を振り返るとともに今後の活動の励みとする。また、妻籠宿の取組事例を県内に広く共有する。 ①フォーラム開催 484千円	484	387	387	観光地づくり
26	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	妻籠宿の季節の催しを通した持続可能な観光地づくり事業	妻籠観光協会	新たな6月のイベントとして「紫陽花回廊」を開催する。また、季節ごとの行っている催しのSNS等の発信を強化し、会員以外を含む幅広い世代・地域間の交流や協働を促す。各種イベントを積極的に開催するため、備品を保管するための倉庫を設置し、持続可能で発展性のある事業運営に繋げる。 ①紫陽花等 282千円、イベント備品 101千円、イベントチラシ作成 402千円 ②備品倉庫 1,361千円、紫陽花保管場所整備 132千円	2,278	1,747	1,747	観光地づくり
27	森林づくりと林業の振興	ソフト	水源の森林が育む木育と交流事業	木曽広域連合	水源地の森林の果たす役割や森林整備の重要性を周知し、森林環境譲与税の上流域での活用促進へ繋げていくことを目的に、木曽川下流域自治体の住民を対象にした森林整備体験ツアーや木工体験を実施する。また、木育プログラムを開発し、郡内の保育園や木曽おもちゃ美術館で実践するとともに、広く情報発信することで、森林保全や木材利用への関心をさらに高める。 ①森林整備体験ツアー・木工体験 1,320千円、木育推進事業 3,410千円	4,730	3,672	3,672	森林・林業
28	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	上松凱旋者～秋の寝覚めの木工市～	上松町	上松町内にある木工技能者を育成する職業訓練校・上松技術専門学校を卒業して各地で活躍している木工作家が上松に「凱旋」し、木工品の即売会や木工ワークショップが体験できる「木工市」を開催する。技術専門校の存在と卒業生の活躍を広くアピールするとともに「木工の町・上松」の定着を図る。また、木工作家のほか、地元業者による上松の特産品や郷土料理を味わえる「上松町ブース」も出展するなど、上松町の魅力も発信する。 ①会場使用料・警備 182千円、広告宣伝 619千円、備品 10千円	811	648	648	森林・林業
29	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	元気を生み出す地域づくり事業	開田高原倶楽部	人口減少が進む開田地域の活性化のため、移住促進に向け関係者の声を聴く「イターン者を囲む会」、動画による地域の魅力発信講座、開田高原をテーマにしたアートイベントを開催する。 ①イターン者を囲む会 146千円、動画による魅力発信講座 48千円、アートイベント 228千円	422	316	316	
木曽地域振興局 計					29 事業	68,025	52,076	47,511	26

【再掲】県全域及び木曽地域で重点的に推進するテーマに関する事業

<県全域>

重点テーマ区分	件数	支援額
女性・若者に選ばれる県づくり	0	0
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	1	346
計	1	346

<木曽地域>

重点テーマ区分	件数	支援額
森林、林業を活かした地域づくりの推進	3	6,049
観光地づくりの推進	11	23,045
地域防災力・減災力の強化	2	5,449
人口減少下における持続可能な地域づくり	9	10,276
計	25	44,819